

1. 「介護福祉士国家試験」の受験には、実務者研修修了が必須！！
平成28年度の介護福祉士国家試験から受験資格として、実務経験3年に加えて実務者研修の修了が義務付けられました。
2. サービス提供責任者になれる！！
訪問介護事業所で必ず配置されるサービス提供責任者になるためには、実務者研修の修了が介護福祉士の資格が必要になります。
3. たん吸引や経管栄養（医療的ケア）が学べる！！
原則として医師や看護師以外に認められなかった、たん吸引や経管栄養の基礎知識を学ぶことができます。
4. 豊富な施設で職場見学、実習ができる！！
グループ法人に介護サービス事業所を20ヶ所以上保有しており、希望先の中から実習先を選択可能です。



**受講料
無料**

教材費11,000円（税込）
※自己負担

訓練内容

在宅介護や施設介護において、利用者の状態像に応じた介護や日常生活の支援、自立支援、医療的ケアに関する知識及び技能・技術を習得する。

訓練目標

介護サービス事業所で即戦力として活躍できる人材育成を目指し、介護サービスの実践的な知識及び技術を習得する。

●訓練期間 令和7年9月30日～令和8年3月27日

(月～金：9時15分～15時30分 土日祝休み)

●募集期間 令和7年7月4日～令和7年9月4日

- ◆定員：24名 ※定員に満たない場合は訓練を中止する可能性があります。
- ◆取得資格：介護福祉士実務者研修修了者
- ◆自己負担額：受講料無料 ※テキスト代11,000円（税込）
※職場見学（1日間）実習（2日間）への交通費、健康診断にかかる費用は実費
- ◆申し込み方法：令和7年9月4日までに最寄りのハローワークで職業相談手続き後、受講申込書および写真（3×4cm）を有限会社ウェルフェアへ提出。
※郵送の場合は9/4必着。持参の場合は17時まで。

感染症防止対策
・入室前の体調管理
・消毒液の設置
・マスク着用
・定期的な換気

選考日：令和7年9月11日（木）

選考会場（訓練実施場所）：有限会社ウェルフェア

※駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。
(訓練開始後は限定5台の安価な駐車場のご案内をしております。)

選考方法：筆記試験及び面接 ※筆記用具をお持ちください。

選考結果通知日：令和7年9月17日（水）




有限会社ウェルフェア

〒890-0056

鹿児島市下荒田1丁目8-11松久保ビル2階

TEL 099-286-0702

FAX 099-286-0703

mail : info@welfare-kaigo.com

担当：島子・竹下 【8：30～17：30 月～金】



電停から
徒歩3分

Instagramで訓練の様子を
チェックできます！



WELFARE.KAIGO.KAGOSHIMA

訓練カリキュラム

訓練実施機関名: 有限会社ウェルフェア

訓練概要		在宅介護や施設介護において、利用者の状態に応じた介護や日常生活の支援、自立支援、医療的ケアに関する知識及び技能・技術を習得する。 【短時間】【職場見学等推進】							
科目		科目の内容				訓練時間			
学 科	就職支援	ジョブカードの作成支援、就職活動の進め方、履歴書・職務経歴書の書き方、面接技法				8時間			
	介護職務の理解	安全衛生、多様なサービスの理解、介護職の仕事理解や働く現場の理解				5時間			
	人間の尊厳と自立	人間の多面的な理解と尊厳・自律の支援・人権と尊厳				5時間			
	社会の理解 I	介護保険制度創設の背景と目的・基礎的理解・専門職の役割・介護事業所における守秘義務・個人情報データの取扱い				5時間			
	社会の理解 II	生活と福祉・地域共生社会の実現に向けた制度や施策、社会保障制度、障害者総合支援制度・介護実践にかかわる諸制度・介護報酬の取扱い				30時間			
	介護の基本 I	介護福祉士の役割と機能、尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理				10時間			
	介護の基本 II	介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携・介護における安全の確保とリスクマネジメント・介護従事者の安全				20時間			
	コミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション、コミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームマネジメントとコミュニケーション				20時間			
	生活支援技術 I	生活支援とCF、居住環境の整備と福祉用具の活用・移動・移乗・食事・入浴・清潔保持・排泄・着脱・整容・口腔清潔の生活支援技術の基本、家事援助の基本				20時間			
	発達と老化の理解 I	こころの変化と日常生活への影響・からだの変化と日常生活への影響				10時間			
	発達と老化の理解 II	人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多くみられる症状・疾病等				20時間			
	認知症の理解 I	認知症ケアの理念と視点、認知症による生活障害、心理・行動の特徴、認知症の人とのかかわり・支援の基本				10時間			
	認知症の理解 II	医学的側面からみた認知症の理解、認知症の人への支援の実際				20時間			
	障害の理解 I	障害福祉の理念、障害による生活障害、心理・行動の特徴、障害のある人や家族へのかかわり・支援の基本				10時間			
	障害の理解 II	医学的側面からみた障害の理解、障害の特性に応じた支援の実際				20時間			
	こころとからだのしくみ I	移動・移乗・食事・入浴・清潔保持・排泄・着脱・整容・口腔清潔・休息・睡眠に関連するからだのしくみ				20時間			
	介護過程 I	介護過程の意義と目的・介護過程の展開・介護過程とチームアプローチ				20時間			
	介護過程 II	介護職による介護過程の展開・実践的展開・施設、在宅で暮らす高齢者の介護過程、演習課題) 介護老人福祉施設で生活する事例				25時間			
	介護過程 III	介護過程の実践的展開、片麻痺・在宅での終末期・都会に住む一人暮らしの高齢者・介護老人保健施設等の利用者への生活支援				15時間			
	医療的ケア	医療的ケア実施の基礎(安全な実施、関連する法制度や倫理、感染予防・安全管理体制)				50時間			
実 技	生活支援技術 II	利用者の心身の状態に合わせた介護、福祉用具等の活用、居住環境の整備				30時間			
	介護過程 III	介護過程の実践的展開、片麻痺・在宅での終末期・都会に住む一人暮らしの高齢者・介護老人保健施設等の利用者への生活支援				30時間			
	こころとからだのしくみ II	人間の心理・人体の機能と構造、移動・移乗・食事・入浴・清潔保持・排泄・着脱・整容・口腔清潔・休息・睡眠・人生の最終段階のケアにおける観察のポイント				60時間			
	医療的ケア演習	医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)、経管栄養(基礎的知識・実施手順)、喀痰吸引演習(口腔・鼻腔・気管カニューレ内部)、経管栄養演習(胃瘻、腸瘻、経鼻経管栄養)、救急蘇生法演習				25時間			
	実習事前事後講習	講義で学んだ内容を実習で活用するために介護技術の確認				10時間			
	介護記録の書き方	計画書や報告書の書き方、ケアプラン等・利用票・提供票の意味				5時間			
	振り返り	講義で学んだ知識及び技術の振り返り・修了評価				5時間			
	企業実習	実施しない	✓	実施する	※実施する場合、カリキュラムは別途作成し、総時間のみ記入してください。		10時間		
職場見学、職場体験、職業人講話	【職業人講話】	実施日	令和7年11月5日	内容	介護職に求められる接遇	5時間			
	【職業人講話】	実施日	令和8年3月26日	内容	高齢者社会と地域包括ケア	5時間			
	【職場見学】	通所系サービス・訪問系サービス・施設系サービスの現場見学 事業所: デイサービス笑顔、プライアンス御召覧、南洲の杜、グループホームよしの村、愛光園、グループホーム清滝、特養かもいけ、ヒパリーヒルズ池之上 実施日: 令和8年1月8日				5時間			
訓練時間総合計	533時間	学科	343時間	実技	165時間	企業実習	10時間	職場見学等	15時間
受講者の負担する費用	教科書代					11,000円			
	その他 ()								
	備考 (企業実習先への交通費及び健康診断にかかる費用は実費)								
						合計	11,000円		